

第26期

事業計画書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31日

八尾シティネット株式会社

大阪府八尾市本町一丁目 4 番 1 号

谷村ビル 5 階 5 0 1 号

第26期事業計画書

自令和3年4月1日

至令和4年3月31日

1. 事業方針
2. 営業計画
3. 予算計画書

1. 事業方針

当社は、八尾市の「八尾市放置自転車の防止に関する条例」に基づく各施策を推進するため、平成9年3月に八尾市の外郭団体として設立されました。現在、市内主要駅周辺に9駅14ヵ所27施設の自転車駐車場（以下、駐輪場）の管理運営、レンタサイクル事業を展開し、順調に業績を伸ばしてきましたが、近年は乗降客の減少、駐輪場周辺における空地を利用した小規模駐輪場の出現等により売上の微減傾向がみられます。

令和元年12月に発生した新型コロナウイルスの感染拡大及びその対策、「緊急事態宣言」での休業、休学、外出規制により日本経済が大打撃を受けるなかで、当社の駐車場収入についても、1回目の「緊急事態宣言」直近では対前年度で約30%、年度全体では対前年度で約20%の落ち込みとなっています。

新型コロナウイルスの感染の終息が見通せないなか、また、終息したとしてもリモートワーク、オンライン授業の定着など、社会の人の流れが大きく変わるなかで、駐車場の利用者がコロナ禍以前の水準に回復することは極めて想定しにくいことから、今期の売上については、平成31年度の売上の15%減を想定し、事業計画を立てるものです。

駐輪場の運営においては、利用者サービスの向上を第一に、利用者の声を受け止め、地域に根ざした駐輪場として、きめ細やかなサービスに努めると同時に、安全・安心して駐輪場を利用していただくため、日常の維持管理にくわえ、施設の老朽化に対しては、計画的に改修、改良を実施します。

各事業を実施するにあたっては、事業効果、とくに投資的事業については、費用対効果を十分に検討し事業実施するものです。

2. 営業計画

(1) 自転車駐車場（以下 駐輪場）の円滑な経営について

● 駐輪場の管理について

駐輪場の管理業務においては引き続き、八尾シルバー人材センターへの委託を中心に地域高齢者の就労の場を提供していくこととしますが、管理員の自転車の大型化による肉体的負担、慢性的な管理員の不足による責任者の確保、長期間勤務の負担も課題になっています。

駐輪場の管理運営については、利用者サービスの向上を第一に考えることが基本となりますが、管理員の高齢化の課題、中長期の視点での経費削減から、管理の機械化を積極的に図っていく必要があります。

1. 管理体制の適正化

今期において、各自転車駐車場の有人管理時間（始業、終業時間）を統一するとともに、昼間の閑散時間帯の管理員の配置を見直すことで管理体制の適正化を図ります。

※ 平日 6:30～20:00 日・祝日 7:00～15:00

2. 管理の機械化

2-1. コインポストの電磁ロック式個別ラックシステム化

硬貨が限定され利用者にとって不便で、管理上も個別に料金回収が必要で、旧式設備で部品調達も困難になりつつあるコインポスト（※写真①）を、電磁ロック式個別ラックシステム（精算機による料金精算※写真②）に入替えることで、利用者の利便性の向上と、利用料金回収の手間が大幅に省けることによる管理費用の削減を図ります。

（※写真① コインポスト）



（※写真② 電磁ロック式個別ラックシステム）



2-2. 精算機交通系電子マネー対応化



国が進めるキャッシュレス化の流れにあわせ、当社においても昨年度から精算機のICOCA等の交通系電子マネー対応化を進めており、これにより、利用者の利便性の向上と、精算機内の利用料金回収の回数を減らせることによる管理費用の削減を図ります。

※写真左 電子マネー（ICOCA）対応決済機

2-3. 定期更新機導入



また、自転車駐車場管理の機械化を図る一つとして、定期更新機の導入を進めるもので、定期更新機の導入により、定期更新時の窓口混雑を軽減するとともに、管理員の窓口業務（現金のやり取り等）の負担軽減を図ります。

※写真左 定期更新機

● 駐輪場の整備

新規の自転車駐車場の整備については、今後も利用者の需要が見込まれるJR久宝寺駅周辺（※写真③）周辺、近鉄服部川駅周辺（※写真④）での整備について八尾市との協議を進めていきます。特に、近鉄服部川駅の駐輪場は、駐輪場のネットワーク化を図っていく上でも、重要と考えており、八尾市へも積極的に働きかけていきます。

また、JR久宝寺駅東駐輪場（裏面 写真⑤、⑥）のリニューアルについては、引き続き八尾市と具体的協議に入ります。

（※写真③JR久宝寺駅南側ロータリー）

（※写真④近鉄服部川駅周辺）



(※写真⑤、⑥JR久宝寺駅東自転車駐車場)



● 修繕費について

修繕工事については、平成 29 年度自転車駐車場現況調査報告のなかで緊急度が高かった施設については一定の対応をしていることから、当面は対処療法的な対応とするものです。

ただし、台風等の災害により大規模な修繕が必要になった場合については、修繕積立金の取り崩しも視野に迅速に対応するものです。

● 地域に根ざした駐輪場の取組み

地域に根ざした駐車場の取組みとして、前期（令和 2 年度）に整備した地下鉄八尾南駅前自転車駐車場において、隣接する保育所の協力で園児の絵画を駐車場の壁面に掲載しました。（※写真⑦）この試みが好評であれば、今年度から「地域に根ざした駐車場の取組み事業」の一つとして他の駐輪場においても、このような取り組みを広げていきたいと考えています。

また、駐輪場の看板、掲示物（案内、注意事項等）の老朽化、不統一、乱雑が目立ってきていることから、前年度に現状調査を実施、今年度ではこの調査結果を整理し、ピクトグ

ラム（※写真⑧）などを用いた視覚的にも分かりやすく、効果的なものにしていきます。

（※写真⑦ マリア保育園児制作絵画）



（※写真⑧ ピクトグラム）

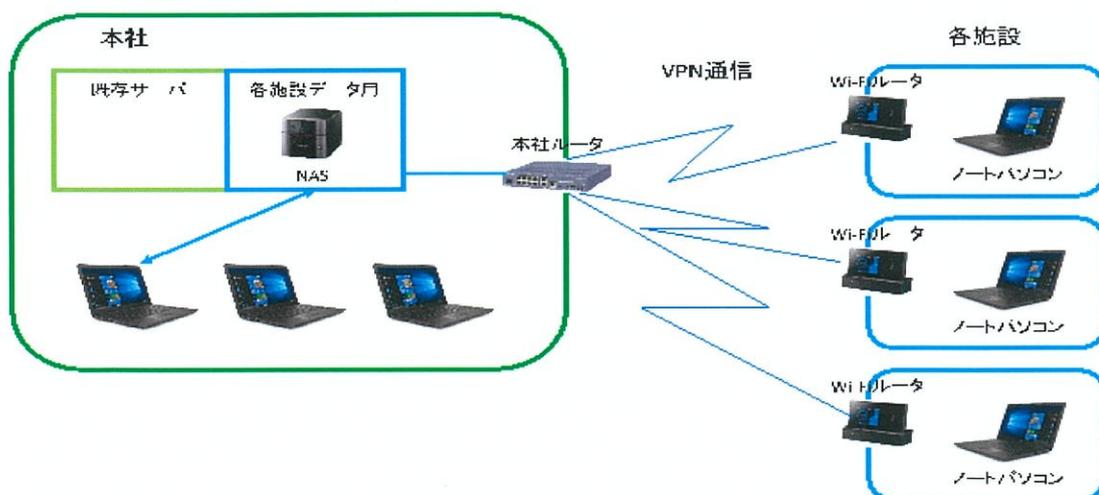


● 利用料金の改定

利用料金については、消費税率の改定による料金改定は過去の経過からも難しいと判断し、行いませんでしたが、新型コロナウイルスが終息にむかっても、リモートワーク、オンライン授業が定着するなかで、自転車駐輪場の利用者が以前の水準に回復することは考えにくいなかで、経費削減に取り組むものの、人件費、管理委託費（人件費）、光熱費当等の固定費の削減も厳しいことから、中期スパンでの収益シミュレーションから利用料改定を検討します。

● 事務の IT 化

本社、駐輪場間のネットワーク化、帳票のデジタル化を図ることで、本社-駐輪場の事務連絡の効率化、売上集計などの事務処理の効率化を図ります。（※下記イメージ図）



(2) レンタサイクル事業の運営について

レンタサイクル事業は、平成 18 年 4 月に八尾市からの移管を受け、現在 9 カ所の自転車駐輪場（以下 駐輪場）において、運営しています。

運営当初は、レンタサイクルにリサイクル自転車を活用していましたが、快適にレンタサイクルを利用してもらいたい、貸し出すレンタサイクルに差が無いように、平成 29 年度全てを（同一）新車に入れ替えるとともに駐輪場への配置台数を見直しました。また、レンタサイクルを安全、安心に利用していただくため、「大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を遵守し、毎年自転車安全整備士による整備点検（※ 自転車安全整備士による点検・整備を行った自転車には TS マークが貼られ、傷害補償、賠償責任補償、被害者見舞金を補償内容とする保険が付帯されます。）を行っています。このような利用者サービスの向上、安全への取組みにより、レンタサイクル事業は順調に業績を伸ばしてきました。また、前年度におきましては、JR おおさか東線 久宝寺-大阪線が開業するなど、今後も自転車駐輪場、レンタサイクルの需要が見込まれる JR 久宝寺駅北自転車駐輪場においてレンタサイクル事業の運営を開始し一定の成果を上げています。（※写真⑩、⑪）

（※写真⑩JR 久宝寺駅北自転車駐輪場

（写真⑪JR 久宝寺駅北自転車駐輪場

レンタサイクル置場 BEFORE)

レンタサイクル置場 AFTER)



レンタサイクルについても、コロナ禍により、売上は落ち込んでいますが、観光・レジャーでの活用等、まだまだ伸びていく余地があるものと考えています。

レンタサイクルは、利用者にとって手軽で利便性が高く、駅からの通勤・通学や営業の移動手段として市民に認知されてきていますが、更に、観光やレジャーでの利用など、更にレンタサイクルの利用を促進するために積極的な情報発信に努めます。

観光での取組として、八尾市観光協会との連携事業（写真⑫、⑬）として、観光案内所において観光用レンタサイクルの取扱いを今年 4 月 1 日より開始します。今回、観光用レンタサイクルとして、一般の自転車に加え電動アシスト自転車を 3 台配置しますが、通常の

レンタサイクル事業でも、電動アシスト自転車の導入を検討します。

(※写真⑫、⑬八尾市観光協会との連携事業)



また、レンタサイクルは公共交通としてのツールの一つになりえることから、自転車駐車場間での相互利用（貸し借り）など、利用者の利便性を高めるような仕組みの研究・検討を進めます。